

一般社団法人新潟県言語聴覚士会  
**令和元年度総会議案書**

日時：令和元年6月9日（日）13：10～14：10

場所：新潟テルサ 3階大会議室（会場1）

# 一般社団法人新潟県言語聴覚士会 令和元年度総会次第

1. 開会宣言

2. 議長団選出

3. 会長挨拶

4. 大会役員選出：書記，議事録署名人任命

5. 定足数報告

6. 議事（審議事項）

第1号議案 平成30年度事業報告及び収支決算，監査報告に関する件

（資料 平成30年度一般社団法人新潟県言語聴覚士会 活動記録）

第2号議案 年会費に関する件

7. 議事（報告事項）

報告1 令和元年度事業計画および収支予算に関する件

8. 議長団解任

9. その他

10. 閉会宣言

※総会を欠席される方は，同封の委任状を5月31日（金）までに提出するようご努力ください。

※総会出席時には，この総会資料をご持参ください。

## 平成30年度事業報告

### 1. 県士会全体 <会長> 佐藤厚

- (1) 新潟県リハビリテーション専門職協議会、地域包括ケア支援専門職協議会の活動に参画し、地域包括ケアシステムの推進に努めた。
- (2) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業を推進し、支援者養成指導者研修に2名の受講者を派遣した。
- (3) 本会運営に際し、財務状況を見直し、会費改定の検討を始めた。
- (4) 日本言語聴覚士協会と協議し、2022年日本言語聴覚学会の新潟県開催を決定した。
- (5) 業務の多様化に伴い、理事会組織改定及び各地域単位での組織整備に取り組んだ。
- (6) 会員への情報提供、研鑽機会提供などを行った。
- (7) (一社)日本言語聴覚士協会、都道府県士会と連携し情報交換を行った。

### 2. 事務局 <事務局長> 高橋圭三

#### 財務部 <部長> 名古屋千恵子

- (1) 県士会の財務管理を行った。
- (2) 会費の管理と納入督促を行った。また、未納金に対する対策を検討した。
- (3) 総会において、会計報告を行った。
- (4) 会計監査に関わる業務を行った。

#### 総務部 <部長> 長井彩香

- (1) 第1回一社定期総会を開催した。
- (2) 平成30年度一社理事会を7回開催した。
- (3) 4役会議を4回開催した。
- (4) 平成30年度一社事務局会議を3回開催した。
- (5) 会員について、入退会など会員在籍事務を行った。
- (6) 刊行物、その他の発送および管理を行った。
- (7) 外部団体との連絡窓口として情報の整理、配信、発信を行った。

### 3. 学術局 <学術局長> 佐藤卓也

#### 教育研修部 <部長> 佐藤卓也

- (1) 学術局会議を3回開催した。
- (2) 学術大会実行委員会を6回開催した。
- (3) 研修会を4回開催した。
- (4) 第6回新潟県言語聴覚士会学術大会を開催した(平成30年6月2日於新潟市)。
- (5) 他団体、他部局と共同し研修会を開催した。

#### 生涯学習部 <部長> 本間桜

- (1) (一社)日本言語聴覚士会生涯学習プログラムの基礎講座を4講座開催した。
- (2) (一社)日本言語聴覚士会生涯学習プログラムの専門講座を1講座開催した。

#### 4. 社会局<社会局長>斎藤和幸

##### 公益事業部 <部長> 蓮子浩行

- (1) 「新潟福祉機器展（平成30年5月12・13日）」・「健康寿命延伸フォーラム（平成30年11月4日）」・「福祉・介護・健康フェア2018長岡（平成30年12月2日）」に参加した。
- (2) 「言語聴覚の日」の活動も兼ねて「長岡市すこやか・ともしびまつり2018（平成30年9月29・30日）」に参加した。
- (3) 「新潟県介護予防市町村支援委員会専門部会」「新潟県災害リハビリテーション連絡協議会」「長岡市地域包括ケア推進協議会」に参画した。
- (4) 県士会災害対策委員会を中心に、県士会並びに他の職能団体との災害対策支援体制の整備に取り組んだ。

##### 調査部 <部長> 山田大樹

- (1) 県内の失語症友の会等の活動について調査を行った。
- (2) 会員に向けての施設調査を実施した。

##### 広報部 <部長> 伊藤綾子

- (1) 広報誌を年4回発行した。
- (2) ホームページにて会員への情報提供、県士会活動の啓発を行った。
- (3) (一社)日本言語聴覚士協会の「言語聴覚の日」のイベント報告を行った。
- (4) (公社)新潟県理学療法士会、(公社)新潟県作業療法士会と協力して、高校生の職場体験を実施した。

#### 5. 学校教育連携委員会<委員長>鍛冶山洋

- 1) 学校訪問事業として、全7件（小学校2件、中学校1件、特別支援学校4件）実施した。

#### 6. 災害対策委員会<委員長>堂井真理

- (1) 組織体制・支援体制の構築・連絡系統の整備に取り組んだ。
- (2) 災害時のリハビリ支援や協力体制について「新潟県災害リハビリテーション連絡協議会」や「新潟大学医学部災害医療教育センター」など他団体と連携を図った。
- (3) 大阪府北部地震・西日本豪雨・北海道胆振東部地震の被害状況について情報収集し、広島県・岡山県・愛媛県・北海道の4道府県に義援金を送った。

#### 7. 地域包括ケアシステム推進委員会<委員長>井上真一

- (1) 平成30年度新潟県介護予防活動普及展開事業に参画し、胎内市、新発田市、十日町市、三条市、村上市、魚沼市、小千谷市、弥彦村、阿賀町、五泉市における「介護予防のための地域ケア個別会議」への助言者派遣を行った。
- (2) ブロック代表者を中心とし、各市町村区からの介護予防事業に関わる依頼に対応した。
- (3) 地域リハ活動支援推進のための人材育成研修として、(一社)日本言語聴覚士協会導入研修プログラムを1回開催した。

# 収支決算, 監査報告

## 貸借対照表

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	71,257	0	71,257
普通預金	2,364,032	2,168,901	195,131
前払費用	96,960	0	96,960
流動資産 合計	2,532,249	2,168,901	363,348
2 固定資産			
設立20周年記念事業積立資産	400,087	350,086	50,001
固定資産 合計	400,087	350,086	50,001
資産合計	2,932,336	2,518,987	413,349
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	128,000	75,000	53,000
流動負債 合計	128,000	75,000	53,000
2 固定負債			
該当なし	0	0	0
固定負債 合計	0	0	0
負債合計	128,000	75,000	53,000
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	2,804,336	2,443,987	360,349
正味財産合計	2,804,336	2,443,987	360,349
負債及び正味財産合計	2,932,336	2,518,987	413,349

## 正味財産増減計算書

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金	62,000	2,000	60,000
②受取会費	1,856,000	5,000	1,851,000
正会員受取会費	1,805,000	5,000	1,800,000
学生会員受取会費	1,000	0	1,000
賛助会員受取会費	50,000	0	50,000
③事業収益	977,900	0	977,900
④受取補助金	37,160	0	37,160
⑤受取寄附金	0	2,493,995	△ 2,493,995
⑥雑収益	280,098	0	280,098
受取利息	4	0	4
雑収益	280,094	0	280,094
経常収益計	3,213,158	2,500,995	712,163
(2) 経常費用			
①事業費	1,657,720	0	1,657,720
消耗品費	50,474	0	50,474
旅費交通費	350,232	0	350,232
通信運搬費	19,096	0	19,096
支払手数料	4,266	0	4,266
印刷製本費	257,052	0	257,052
諸謝金	325,810	0	325,810
広報費	5,400	0	5,400
渉外費	341,110	0	341,110
会場費	250,280	0	250,280
支払負担金	30,000	0	30,000
支払寄附金	15,000	0	15,000
雑費	9,000	0	9,000

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
②管理費	1,195,089	57,008	1,138,081
広報費	0	6,088	△ 6,088
消耗品費	32,370	50,920	△ 18,550
渉外費	20,000	0	20,000
旅費交通費	289,079	0	289,079
通信運搬費	148,931	0	148,931
支払手数料	4,704	0	4,704
会議費	3,120	0	3,120
諸会費	25,000	0	25,000
研修教育費	37,160	0	37,160
印刷製本費	17,134	0	17,134
雑費	617,591	0	617,591
経常費用計	2,852,809	57,008	2,795,801
当期経常増減額	360,349	2,443,987	△ 2,083,638
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	360,349	2,443,987	△ 2,083,638
一般正味財産期首残高	2,443,987	0	2,443,987
一般正味財産期末残高	2,804,336	2,443,987	360,349
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,804,336	2,443,987	360,349

## 設立20周年記念事業積み立て報告

	金額
平成23年度分	50,000
利息	4
平成24年度分	50,000
利息	4
平成25年度分	50,000
利息	15
平成26年度分	50,000
利息	25
平成27年度分	50,000
利息	33
平成28年度分	50,000
利息	3
平成29年度分	50,000
利息	2
平成30年度分	50,000
利息	1
合計	400,087



### 監査報告

私ども監事2名は、一般社団法人新潟県言語聴覚士会の平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業務執行および財産状況につき、監査を実施いたしました。

平成30年度の決算報告書は妥当なものと認めます。

業務執行は、おおむね定款ならびに理事会決議に基づき行われていると認めます。

平成31年4月22日

監事 小林優紀江   
監事 大平芳則 



## 令和元年度事業計画

### 1. 県士会全体 <会長> 佐藤厚

- (1) 新潟県リハビリテーション専門職協議会、地域包括ケア支援専門職協議会の活動に参画し、地域包括ケアシステムの充実を図る。
- (2) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業を推進し、支援者養成指導者研修に2名の受講者を派遣すると共に、指導者養成に向けた協議を新潟県と進める。
- (3) 会費改定を進め、財務状況の安定を図る。
- (4) 2022年日本言語聴覚学会開催に向け、実行委員会を組織する。
- (5) 新潟県理学療法士会、新潟県作業療法士会と共に、3士会合同学会を開催する。
- (6) 理事会組織の効率化、地域ブロック実効性向上により本会運営の効率化を図る。
- (7) 情報提供、研修機会提供など、会員への利益供与に努める。
- (8) 県民に言語聴覚療法、言語聴覚士の知名度拡大に努める。
- (9) (一社)日本言語聴覚士協会、都道府県士会と連携し情報交換を行う。

### 2. 事務局 <事務局長> 高橋圭三

#### 財務部 <部長> 名古屋千恵子

- (1) 県士会の財務管理を行い、活動に関する予算を執行する。
- (2) 行政書士と連携し、一般社団法人としての適切な会計業務を行う。
- (3) 一般社団法人としての適切な税金業務を行う。
- (4) 理事会において予算執行状況を報告する。
- (5) 会費納入督促と管理を行う。また、未納金に対する対策を検討する。
- (6) 定期総会において、会計報告を行う。
- (7) 会計監査に関わる業務を行う。
- (8) 令和元年度の予算案を策定する。

#### 総務部 <部長> 長井彩香

- (1) 第3回定期総会を開催する。
- (2) 理事会、その他会議を開催する。
- (3) 正会員、準会員、学生会員、賛助会員について入退会などの会員在籍事務を行う。
- (4) 刊行物、その他の発送および管理を行う。
- (5) (一社)日本言語聴覚士協会都道府県士会連絡窓口として情報の収集および提供を行う。
- (6) 各種外部団体との連絡窓口として情報の整理、配信、発信を行う。
- (7) 会員連絡について、会員メールを活用して情報発信を行っていく。

### 3. 学術局 <学術局長> 佐藤卓也

#### 教育研修部 <部長> 五十嵐武士

- (1) 学術局会議を開催する。
- (2) 学術大会実行委員会を組織し、令和元年度学術大会を企画、運営、開催する。
- (3) 研修会等を開催する。

- (4) 県内地域の勉強会関連の情報を収集し、当県士会ホームページで公開する。
- (5) 他団体、他部局と共同し研修会を開催する。
- (6) 臨床に関する相談を受け付け、対応する。

生涯学習部 <部長> 本間桜

- (1) (一社) 日本語聴覚士会生涯学習プログラムに関する情報を提供する。
- (2) (一社) 日本語聴覚士会生涯学習プログラム基礎講座、および専門講座を開催する。

4. 社会局<社会局長> 齋藤和幸

公益事業部 <部長> 蓮子浩行

- (1) 「新潟福祉機器展」・「長岡市すこやか・ともしびまつり」・「健康寿命延伸フォーラム」に参画する。
- (2) 関連部署と連携し「言語聴覚の日」の活動を行い、(一社) 日本語聴覚士協会に「言語聴覚の日」のイベント報告を行う。
- (3) 関連諸機関・諸団体との連携や交流を図る。

調査部 <部長> 山田大樹

- (1) 会員の施設調査を実施し、施設便覧を完成させる。
- (2) アンケート調査に対する調査協力病院の登録制度の整備を検討する。

広報部 <部長> 伊藤綾子

- (1) 会員への情報提供のため、年4回広報誌を発行する。
- (2) ホームページを運用し、会員への情報提供、県士会活動の啓発を行う。
- (3) 県士会リーフレットを検討し、作成する。
- (4) (公社) 新潟県理学療法士会や(公社) 新潟県作業療法士会と協力して、高校生の職場体験を実施する。
- (5) 新入会員、県士会会員の親睦を深めるための懇親会を企画・開催する。

5. 学校教育連携委員会<委員長> 鍛冶山洋

- (1) 学校訪問事業の継続(6年目)として10回程度の訪問を行う。

6. 災害対策委員会<委員長> 堂井真理

- (1) 災害時の会員の安否確認・連絡系統の整備・支援体制の整備を見直し、強化を図る。
- (2) 支援活動・ボランティアに携わる人材育成のための研修を行う。
- (3) 災害に関する情報やボランティア登録の促進にむけて会員に発信する。

7. 地域包括ケアシステム推進委員会<委員長> 井上真一

- (1) 介護予防事業において、言語聴覚士の役割、多職種連携の必要性について啓発を行う。
- (2) 令和元年度新潟県介護予防活動普及展開事業に参画し他団体と共同し活動を行う。24ブロック代表者を中心に各市町村で開催される「介護予防のための地域ケア個別会議」への助言者派遣調整を行う。
- (3) 24ブロック代表者を中心とし、各市町村からの介護予防事業に関わる依頼に対応する。
- (4) 新潟県30市町村からの依頼に対応するため、ブロック代表者の拡充を進める。
- (5) 介護予防事業に参画可能な人材確保、人材育成を目的とし(一社) 日本語聴覚士協会プログラム「初期研修」「導入研修」等の研修会を開催する。

## 令和元年度 予算案

《収入の部》		
項目	予算額	摘要
会費	1,800,000	5,000円×360名
正会員		
新入会員	100,000	5,000円×20名
準会員	0	2,000円×0名
学生会員	1,000	1,000円×1名
入会金	40,000	2,000円×20名
賛助会費	50,000	5,000円×10社
研修会参加費	180,000	2,000円×30人×3研修会
学術大会参加費	360,000	3,000円×120名
活動支援金	50,000	日本語聴覚士協会より
前年度繰越金	2,435,289	
<b>収入合計</b>	<b>5,016,289</b>	
《支出の部》		
項目	予算額	摘要
<b>事務局</b>	<b>1,499,000</b>	
通信費	190,000	広報誌会員他団体発送
名刺作成費	30,000	理事名刺、ブロック名刺の名刺用紙、印刷費
印刷費	80,000	総会等印刷経費
事務用品費	30,000	コピー用紙・ラベル用紙・その他文具
交通費	250,000	理事会交通費、会場費
雑費	50,000	お祝い金・香典など
理事等出張費	200,000	協会会議、新潟リハビリテーション専門職協議会参加
他団体協力費	15,000	年会費等
失語症者養成支援者旅費	45,000	1名分の旅費(東京往復交通費、宿泊2泊分)
総会費用	5,000	
行政書士への外注費	444,000	税金処理業務
税金	50,000	謝金等税金
会員証作成費	80,000	会員証400枚作成料
クラウド利用料	30,000	ドロップボックス管理費
<b>学術局</b>	<b>835,000</b>	
研修会費	531,794	講師謝礼・宿泊費・会場費・会議費
印刷費	74,000	通信費・印刷費
交通費	206,000	研修会講師およびスタッフ交通費
雑費	23,206	講演付随費・用品費
<b>社会局</b>	<b>461,200</b>	
調査部		
印刷費	3,000	アンケート印刷費(行政等からの依頼文)
交通費	10,000	部会
公益事業部		
イベント経費	88,000	協力費・消耗品・オーディオメーターレンタル
交通費	10,000	部会
通信費	2,000	宅急便代
広報部		
印刷費	156,000	next STage(年4回)
通信費	10,000	next STage(年4回)発送費
ホームページ運営費	19,000	サーバー利用代
リーフレット作成費	45,000	1000部
職場体験経費	30,000	印刷費、郵送料、交通費
ブロックリーダー会議		
印刷費	5,000	
交通費	46,000	部会
会場費	30,000	ときめいと6時間(理事会同時開催)
雑費	7,200	お茶代
<b>学校教育連携委員会</b>	<b>68,000</b>	
講師派遣費用	50,000	学校訪問5,000円×10回
交通費	10,000	会議、研修会スタッフ
研修会資料	8,000	資料印刷費
<b>災害対策委員会</b>	<b>85,000</b>	
研修会費	20,000	会議費、研修会開催費用
交通費	10,000	委員会
年会費	30,000	新潟県災害リハビリテーション協議会
災害対策積立金	25,000	義援金
<b>地域包括ケアシステム推進委員会</b>	<b>50,000</b>	
研修会費	35,000	会場費、講師謝礼
交通費	10,000	研修会スタッフ
印刷費	5,000	研修会資料
<b>三士会学術大会</b>	<b>150,000</b>	
会場費	80,000	朱鷺メッセ
講師謝礼	50,000	
交通費	20,000	スタッフ
<b>積み立て金</b>	<b>50,000</b>	設立20周年記念事業
<b>予備費</b>	<b>1,818,089</b>	
<b>支出合計</b>	<b>5,016,289</b>	

【資料】

平成30年度一般社団法人新潟県言語聴覚士会 活動記録

日時	内容	会場	出席者等	
【4月】	4日	新潟県リハビリテーション専門職協議会 新潟県リハビリテーション大学・新潟看護医療専門学校村上入学入学式	新潟市 新潟市	佐藤会長 佐藤会長
	12日	平成30年度一般社団法人第1回理事会	新潟市	理事13名
	14日	第1回学術局会議	新潟市	局員9名
		広報誌next STage 第68号発行		
【5月】	9日	県福祉保健部高齢福祉保健課を訪問	新潟市	佐藤会長
	10日	胎内市地域ケア個別会議 第6回新潟県言語聴覚士会学術大会第7回実行委員会	胎内市 新潟市	井上、ST見学者2名 実行委員8名
	12・13日	第14回新潟福祉機器展 平成30年度第1回介護予防活動普及展開事業における手引き作成 ワーキング	新潟市 新潟県	110名来場 堂井
	15日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市	井上、五十嵐、ST見学者1名
	16日	食支援多職種連携プロジェクト第1回協議会	新潟市	阿志賀、佐藤(卓)
	18・19日	第9回訪問リハビリテーション地域連携会議	東京都	井上
	19日	一般社団法人平成30年度第2回理事会	新潟市	理事12名
	22日	長岡市はつらつ広場会議	長岡市	伊藤
	25日	長岡市多職種全体交流会	長岡市	斎藤(和)、熊谷
	26日	日本言語聴覚士協会総会	東京	佐藤会長
	30日	健康寿命延伸にかかわる多職種協働推進委員会	新潟市	堂井、蓮子
31日	第1回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	斎藤(和)、見学者1名	
【6月】	2日	新潟県言語聴覚士会第6回学術大会 一般社団法人新潟県言語聴覚士会第1回総会 法人化記念式典・祝賀会	新潟市 新潟市 新潟市	参加者数112名  参加者数61名
	5日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市	井上
	7日	新潟県リハビリテーション専門職協議会	新潟市	佐藤会長
	14日	胎内市地域ケア個別会議	胎内市	井上、見学者1名
	17日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市	井上、見学者1名
	19日	新発田市地域ケア個別会議	新発田市	井上
	21日	平成30年度長岡市地域リハビリテーション活動支援事業関係者会議 2018年学校教育連携担当者連絡協議会	長岡市 長岡市	伊藤(綾)、斎藤(和) 鍛冶山
	22日	第2回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	斎藤(和)、見学者2名
	25日	介護予防のための地域ケア個別会議助言者育成研修	新潟市	斎藤(和)、ST8名
	26日	第6回長岡市フェニックスネットワーク協議会	長岡市	斎藤(和)
	29日	第1回長岡市地域包括ケア推進協議会	長岡市	斎藤(和)
【7月】	3日	第2回平成30年度介護予防普及展開事業における手引き作成ワーキング	新潟市	井上
	5日	新潟県リハビリテーション専門職協議会	新潟市	佐藤会長
	19日	長岡市地域包括支援センターまきやま・みしまの多職種交流会	長岡市	須田
	20日	三役会議	新潟市	理事7名、山貝
	21日	H30年度新潟県言語聴覚士会第1回研修会	新潟市	参加者19名
	27日	第3回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	斎藤(和)
	28日	平成30年度一般社団法人第3回理事会 平成30年度一社第1回事務局会議	新潟市 新潟市	理事16名 理事5名
	31日	すこやかともしび祭り説明会 広報誌next STage 第69号発行	長岡市	斎藤(和)
【8月】	2日	介護予防における地域ケア個別会議	胎内市	井上
	17日	リハビリテーション専門職協議会 第4回介護予防における地域ケア個別会議	新潟市 十日町市	佐藤会長 斎藤(和)
	18日	第2回摂食嚥下スキルアップセミナー	新潟市	参加者34名
	21日	介護予防における地域ケア個別会議	新発田市	井上
	24日	地域ケア会議支援6職種による懇談会 第1回魚沼圏域介護予防従事者研修	新潟市 魚沼市	佐藤会長 今井
		長岡市地域包括支援センターなかじま・おもてまち多職種交流会	長岡市	伊原、上村
	30日	第1回自立支援型地域ケア個別会議 高校生職場見学	三条市 県内全域	斎藤(和) 33名参加



日時	内容	会場	出席者等	
【9月】	1日	・(株)タケショー主催食の花東スマイルセミナー	新潟市	佐藤会長
		・新潟県自立支援協議会	新潟市	佐藤会長
		・日本言語聴覚士会生涯学習プログラム基礎講座4&5	新潟市	参加者数9名
		・H30年度新潟県言語聴覚士会第2回研修会	新潟市	参加者数7名
	9日	・第1回地域リハ活動支援推進のための人材育成研修の導入研修	長岡市	井上、斎藤(和)、伊藤、参加者4名
	12日	・介護予防のための地域ケア個別会議助言者リーダー研修	三条市	斎藤(和)・斎藤(望)
	13日	・介護予防における地域ケア個別会議	胎内市	井上
	18日	・介護予防における地域ケア個別会議	新発田市	井上
	19日	・長岡市介護予防事業はつらつ広場「白梅会」	長岡市	斎藤(和)
	20日	・リハビリテーション専門職協議会	新潟市	佐藤会長
		・第7回学術大会実行委員会組織・第1回実行委員会	新潟市	実行委員8名
	21日	・第3回平成30年度介護予防活動普及展開事業における手引き作成ワーキング	新潟市	井上
	28日	・第5回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	斎藤(和)
29日	・平成30年度一般社団法人第4回理事会	新潟市	理事9名	
29・30日	・すこやかともしび祭り	長岡市	来場者289名	
【10月】	1日	・介護予防における地域ケア個別会議	胎内市	井上
	4日	・介護予防における地域ケア個別会議	胎内市	谷内、増田
	7日	・H30年度新潟県言語聴覚士会第3回研修会	長岡市	参加者数100名
		・第2回学術局会議	長岡市	局員5名
	15日	・第2回自立支援型地域ケア個別会議	三条市	斎藤(和)、斎藤(望)、田辺
	16日	・介護予防における地域ケア個別会議	新発田市	井上
	17日	・第2回長岡市地域包括ケア推進協議会	長岡市	斎藤(和)
		・長岡市地域リハビリテーション活動支援事業はつらつ広場「白梅会」	長岡市	斎藤(和)
	24日	・県主催助言者育成研修	新潟市	井上
	26日	・第6回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	斎藤(和)
	28日	・H30年度障がい者IT活用サポーター養成講座	新潟市	参加者数22名(うちST3名)
30日	・はつらつ広場支援事業代表者会議	長岡市	斎藤(和)	
	・地域リハビリテーション活動支援事業リハ職関係者会議	長岡市	斎藤(和)、伊藤(綾)	
【11月】	1日	・胎内市自立支援型地域ケア個別会議開催	胎内市	井上
	4日	・新潟県民健康寿命延伸フォーラム	新潟市	蓮子、阿志賀、井上、他2名
	6日	・第2回リハビリテーション専門職協議会基金研修WG会議	新潟市	本間、井上
	8日	・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会	新潟市	阿志賀、井上
		・失語症者支援者養成事業 会議	三条市	田村、永井
	10日	・平成30年度第5回理事会	新潟市	理事14名、鍛冶山
		・平成30年度第3回事務局会議	新潟市	高橋、阿志賀、名古屋、田村、長井
	11日	・H30年度障がい者IT活用サポーター養成講座	新潟市	参加者数22名(うちST3名)
	12日	・第2回多職種連携に向けた勉強会・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会合同研修会事前打ち合わせ	長岡市	齋藤(和)
	13日	・第15回新潟県作業療法士学会	新潟市	堂井
	16日	・第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会準備委員会	新潟市	堂井、小林、遠藤
	17日	・長岡市地域包括支援センターわしま・てらどまり多職種交流会	長岡市	金子
	17・18日	・第4回新潟県災害リハビリテーション研修会	新潟市	堂井、古川
	18日	・日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム基礎講座6&1	新潟市	参加者数20名
		・日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム専門講座	新潟市	参加者数22名
	20日	・新発田市自立支援型地域ケア個別会議開催	新発田市	宮澤、井上
	22日	・第7回新潟県言語聴覚士会学術大会第2回実行委員会	新潟市	実行委員8名
	・第4回平成30年度介護予防活動普及展開事業における手引き作成	新潟市	井上	
27日	・第3回自立支援型地域ケア個別会議	三条市	田辺	
30日	・第7回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	齋藤(和)	
	・広報誌next Stage 第70号発行			
【12月】	2日	・福祉・介護・健康フェア2018in長岡	長岡市	齋藤(和)、伊藤 相談6件
	8日	・第2回多職種連携に向けた勉強会・新潟県地域包括ケア支援専門職協議会合同研修会	長岡市	齋藤(和) 参加者122名
	11日	・食支援多職種連携プロジェクト第3回協議会	新潟市	阿志賀、佐藤(卓)
	13日	・胎内市自立支援型地域ケア個別会議開催	胎内市	会田
	16日	・平成30年度介護予防のための地域ケア個別模擬会議基礎研修	長岡市	井上
	17日	・第1回介護予防のための地域ケア個別会議	魚沼市	齋藤(和)
	18日	・新発田市自立支援型地域ケア個別会議開催	新発田市	五十嵐
	19日	・第4回自立支援型地域ケア個別会議	三条市	齋藤(望)
	20日	・第1回介護予防・自立支援のための地域ケア個別会議	弥彦村	齋藤(和)、見学者2名
	21日	・第8回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	齋藤(和)

日時	内容	会場	出席者等	
【1月】	10日	・胎内市自立支援型地域ケア個別会議開催	胎内市	増田
	12日	・第3新潟県リハビリテーション専門職協議会基金研修WG会議	新潟市	本間、井上
	15日	・新発田市自立支援型地域ケア個別会議開催	新発田市	武石
	17日	・第7回新潟県言語聴覚士会学術大会第3回実行委員会	新潟市	実行委委員9名
	23日	・食支援多職種連携プロジェクト第4回協議会	新潟市	阿志賀, 佐藤(卓)
	25日	・第9回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	齋藤(和)
		・第2回新潟県リハビリテーション専門職学術大会準備委員会	新潟市	堂井、小林、遠藤
	27日	・新潟県リハビリテーション専門職協議会基金研修開催	新潟市	本間、井上
	30日	・新潟県リハビリテーション専門職協議会開催	新潟市	
	31日	・第4回新潟県リハビリテーション専門職協議会基金研修WG開催	新潟市	本間、井上
	・第5回自立支援型地域ケア個別会議	三条市	田辺	
	・広報誌next STage 第71号発行			
【2月】	7日	・第2回介護予防・自立支援のための地域ケア個別会議	弥彦村	阿部、見学者1名
		・第5回手引き作成WG開催	新潟市	井上
	8日	・第2回介護予防のための地域ケア個別会議	魚沼市	松木
	11日	・新潟県リハビリテーション専門職協議会基金研修開催	新潟市	本間、井上
	13日	・村上市自立支援型地域ケア個別会議開催	村上市	梅田
	14日	・胎内市自立支援型地域ケア個別会議開催	新発田市	星野
	19日	・第1回介護予防のための地域ケア個別会議	小千谷市	五十嵐、斎藤(和)見学
	20日	・阿賀町自立支援型地域ケア個別会議開催	阿賀町	伊藤(晃)
	21日	・第7回新潟県言語聴覚士会学術大会第3回実行委員会	新潟市	実行委員8名
	22日	・第10回介護予防における地域ケア個別会議	十日町市	齋藤(和)
23日	・第3回学術局会議	新潟市	学術局員9名	
24日	・H30年度食支援多職種連携プロジェクト事例検討会	新潟市	県士会員14名	
25日	・第6回自立支援型地域ケア個別会議	三条市	齋藤(望)	
28日	・五泉市自立支援型地域ケア個別会議開催	五泉市	伊藤(晃)	
【3月】	11日	・手引き作成WG開催	新潟市	井上
	14日	・第7回新潟県言語聴覚士会学術大会第4回実行委員会	新潟市	実行委員7名
		・胎内市自立支援型地域ケア個別会議開催	胎内市	佐藤(卓)
	19日	・新発田市自立支援型地域ケア個別会議開催	新発田市	瀧澤
22日	・第7回自立支援型地域ケア個別会議	三条市	田辺	